

# 福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



発行：福住地区まちづくり協議会

〒669-2513 丹波篠山市福住 342

TEL&FAX：079-557-0116

メール：fk.machikyo@gmail.com

地域おこし協力隊員



## いな 稲ちゃん活動報告！

「丹波篠山の冬は寒いよ！」と、前々から噂には聞いておりましたが、「ほんまに寒いですね！」と、驚きと震えを隠せずに過ごす今日この頃です。

寒さは厳しいですが、澄んだ空気越しに見える冬景色には、また格別の美しさがあるとも感じています。

冬季の地域活動として、11月の福住さとねっとでご紹介した、『歩いてみよう福住の里 オリエンテーリングガイドブック』の内容のデジタル化に取り組むことになりました。新たに撮影するカラー写真と共に、ブログ形式で本年3月の公開を目指しております。完成すれば、皆様にもパソコン・スマホでその内容をご覧頂けるようになります。以下は、その下書きの写真です。



安田の大杉(安田)

この杉は、高さが三十三メートル、幹の周りは九メートルもある大きな杉で、川原の住吉神社の末社、貴船大明神の境内におおい、遠くから見ると森のように見えます。また、「第七森」ともいわれています。

樹齢(木の年齢)は八百年~千年といわれ、丹波地方では最も大きく、最も古いで、昭和四五年に県の天然記念物に指定されています。

みなさんからの「福住さとねっと」への

投稿・情報提供お待ちしております！

＝福住さとねっと編集部＝

## ふくすみ雪花火 2/3 (土) 開催！ ～今年は西野々 松森神社周辺で～



今年も、昨年につき、若手グループ「ツギテ」企画・運営による恒例の冬のイベント「雪花火」を下記のとおり開催することが決定しました！

自治会長会をはじめ、まち協構成の各団体、消防団等にご協力いただき実施します。

また、少しでもたくさんの方にボランティアとしてご協力いただきたいと思っておりますので、積極的にご参加ください。

なお、会場周辺の駐車場は限られていますので、できるだけ乗り合わせでお越しください。

●と き：2月3日(土)

●と ころ：西野々 松森神社(国道372号線西野々交差点付近)

●当日のスケジュール

18時～ フライングランタン販売開始

限定50基(先着順) 1基500円※LEDランタン

19時半～ ランタンイベント

20時～ 花火打ち上げ

当日、会場周辺では、関西国際大学に加え、関西学院大学の学生のみなさんによる「竹あかり」も実施し、会場の雰囲気盛り上げていただきます。

もちろん、福住にゆかりのある飲食店を中心に、おいしい食事やドリンクを楽しんでいただけるお店も勢揃い！

寒い時期ではありますが、会場でお待ちしておりますので、ぜひお越しください！

## NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

●加工賃：1kgあたり420円

●真空パック：1kgあたり25円

●申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話(080-9534-4275)まで

●営業時間：月・水・木曜日の9時～17時

「米粉の日」は、毎月第4木曜日に定期開催！

1月は25日(木)、2月は29日(木)開催予定です。※その他の日でも相談頂ければ対応いたします。

## 第2回福住地区リビングラボ 開催！

= 福住地区自治会長会 =

第2回福住地区リビングラボを12月16日(土)、旧福住小学校体育館において開催しました。

このリビングラボは、福住地区の住民が「よりいきいきと健康に暮らす」ために、何が必要か考える契機づくりとして製菓会社のエーザイ(株)と福住自治会長会が共催した取り組みです。

当日のプログラムでは、まず医師の夫と認知症の妻との10年間に及ぶ日々を記録したドキュメンタリー映画「妻の病」を鑑賞しました。その後、「映画を見てどのように感じたり、共感できたのか?」「認知症に関しての福住地区で気がかりや心配なことは?」をテーマに各グループに分かれ交流しました。

44名の参加者が集い、認知症の方への関わり方や見守りについて考えさせられた一日となりました。



## ふくたけプロジェクト第2弾終了！

= 関西大学・住環境デザイン研究室 =

こんにちは。関西大学・環境都市工学部・建築学科の住環境デザイン研究室です。

福住地区まちづくり協議会と篠山東雲高校と一緒に取り組んでいた「ふくたけプロジェクト」にて、11月にバス停「福住」待合所外壁をトタンから焼杉板に張り替えました。ご寄付など、ご協力いただき、ありがとうございます。

去年は、けせら工房さんとの背もたれ布の染め直しや東雲高校生と竹でフラワーポット製作も行いました。重伝建地区のまちなみにふさわしい落ち着いた雰囲気仕上がったと思います。ぜひ一度足を運んでいただきご覧いただ



## 第1回古文書講座

～古道散策～を終えて

= SHUKUBA 情報 =

本年度の第1回古文書講座を12月に開催しました。古文書講座を開催するにあたって本年度は企画運営に携わる運営委員会を設置しました。運営委員はSHUKUBA理事と地域から歴史に詳しい森田要氏と土佐雅彦氏にお願いして入っていただき、ご意見をお聞きしながら運営します。

第1回の古文書講座は12月8日(金)に24名の参加者を得て開催しました。テーマは「福住の古道を巡る～フィールドワーク～」で運営委員の森田要さんを講師に招いて実施しました。今回案内の古道は中世のものと思われ、福住上地区の丸山神社の南側の山麓を東に添って続いています。森田さんに教えてもらってやっと分かるぐらいの道跡で殆どが原野となっています。古道跡を追って、丸山神社や県立篠山東雲高校の南側の農道を通り川原地区の永泉寺の前の川を渡り安口西までの範囲を散策しました。

篠山東雲高校の東側には当時の古道から住吉神社に伸びる参道の面影が見て取れました。川原自治会にある字限図にもその存在がはっきり明示されています。その近辺の竹藪には住吉神社の墓所がありました。さらに東の安口方面へ行くと古道の名残が村の中に見て取れました。森田要さんの案内と解説で初めて分かる古道跡です。

帰路には安口西公民館前にある藩領碑や川原地区にある古墳2基を見学してSHUKUBAまで帰りました。

SHUKUBAでは図書室で大字福住会館でお借りした明治期の地図により、歩いた古道の足跡をたどり、兵庫県教育委員会が平成5年に発行した「歴史の道調査報告集 第3集 山陰道」に基づいて古代の道、中世の道、近世の道について学習しました。

参加者からは、「今回のフィールドワークで実際に歩いて福住の様子がよく分かった。」

「フィールドワークと座学で効果的に学習できました。」  
「またフィールドワークを実施して欲しい」等のご意見を頂きました。丁寧に説明し案内していただいた森田要さんには感謝するばかりです。

第2回・3回の古文書講座は、「福住に伝わる古文書を読む」をテーマに江戸期の福住の様子を探る予定です。講師は松本充弘先生にお世話になります。

(SHUKUBA 理事 畑善継)

けましたら幸いです。

今後は篠山東雲高校と地域の交流拠点となるヤギ小屋製作を計画しております。今年も引き続き活動を続けてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

なお、何かご意見などございましたら、下記の連絡先までお気軽にご連絡お願いいたします。

関西大学 住環境デザイン研究室 ふくたけプロジェクト副代表 山本湧也  
Tel : 090-6372-6229  
Mail : gl\_u\_9ck9@yahoo.co.jp